

令和5年度 熱中症対策 取組事例 (釜石労働基準監督署管内)

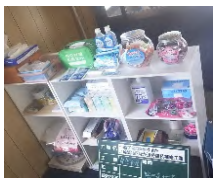
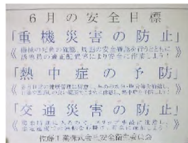
令和5年度の釜石労働基準監督署管内の熱中症対策について、取組事例を以下のとおり取りまとめました。事例を提供いただいた各事業場の皆様ありがとうございました。

佐藤工業株式会社

会社全体として、朝礼時に熱中症の注意喚起をし、現場事務所、作業員休憩所へはエアコン、扇風機を設置しています。

現場では、WBGTのチェックモニターを設置し、水分補給タンク及びクーラーボックスを常備しています。

また、熱中症対策応急セット、冷却スプレーも常備しています。



株式会社青紀土木

一年を通して、朝礼前に全員で体調管理(体温、血圧、アルコール)のチェックをし、記録表に記入した後、一日の仕事を開始しています。

朝礼時のミーティングで全員の顔色を確認し、自ら日誌に「良」「悪」を記入することで体調管理を意識するようになっています。現場詰所をクーラーで涼しく保ち熱中症対策キット、AEDなどを常設しています。

ハーネスの下に着用できるタイプの空調ベストを支給したところ、高所作業でも使用出来て、涼しく汗が乾きやすく快適だと好評です。

JRの除草、森林管理従事作業には、蜂の抗体検査を実施しています。作業には蜂撃退スプレー、ポイズンリムーバーを携帯しています。



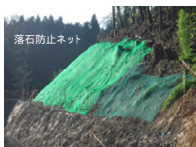
株式会社藤原組

現場内に日陰を作る目的でタープテントの設置、腰を下ろして休める椅子(現場発生材を利用)を設置、常時水分補給を行えるようウォータージャグも設置しています。

体温の上昇を緩和させるため作業員全員に電動ファン付きクールベストを配付し適宜使用し、暑さの厳しい時は1時間に1回15分の休憩を取っています。

また、現場代理人に対し、WBGT基準値を元にした作業中止基準や休憩時間の設定教育を行い現場での実施の徹底を図っています。

法面にグリーンネットを設置し、落石による災害防止も行っています。下草刈りや伐木作業など、蜂と遭遇する可能性が高い作業の時は、殺虫剤スプレーを携帯しています。



株式会社テラ

5月開催の安全大会では熱中症予防について教育を行いました。

現場事務所の蛍光灯をLED型に取替え省エネと室内温度の上昇を抑えています。また、安全掲示板に今日の熱中症の危険度合いを表示し、注意喚起しています。各現場では、空調ジャケットを配付して作業を行っています。交通誘導箇所には、日傘を設置し、直射日光を防いでいます。蜂刺され注意が必要な作業員には医療機関での診断を受けさせ、エビペンも携帯させています。

建設現場で必要とされる特別教育などは、自社で教育できるよう講師資格者を養成し、必要に応じて教育し、未受講者が作業に従事しないよう工夫しています。



株式会社栄組

作業員に安全教育した上で、
熱中症対策ベストキットを現場に常備
黒球式携帯熱中症計を設置
熱中症対策警報リストバンドを着用

留意している点は、夏本番になると入手困難になる品物があるので早めに準備し、常備しておくこと。その他、スズメバチトラップを設置し、また、今後はボイズリムーバーを常備する予定です。



釜石地方森林組合

熱中症対策として、作業員全員に熱中症計を携帯させています。毎年、使用前には、一旦回収し電池切れや故障の点検を行い再び貸与しています。



株式会社テラ

社名入りの長袖作業着を全員に貸与していますが、夏場は上着を脱いで作業することが多く、みんなバラバラになっていました。そのため、動きやすく、統一感のある薄手のポロシャツを採用し、社員全員に配付しています。建設現場の安全面を考慮し、露出する腕には冷感のアームカバー（黒）を着用することで、涼しく作業員にも好評です。その他、現場作業員にはファン付きの空調ベストも配付しています。



有限会社多田工務店

屋外で働く建設作業員に対し、夏は、電動ファン式のベストを配付し、冬はヒーターを内蔵したベストを配付しています。バッテリーを共通化することで費用の支出を抑えています。



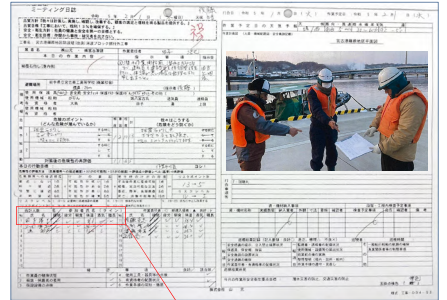
株式会社山長建設

作業員ごとに熱中症予防個人チェックシートを作成し管理しています。各作業員、1週間で1枚とし、作業前、昼休憩時、終業後の1日3回体調の自己チェックをしています。

始業前、昼休憩時、終業後

株式会社山元

現場で毎朝実施しているKY活動の結果を当日の午前中のうちにKYシート、確認している写真を撮影し、本社にメールで送付しています。



本社では全現場から集まる報告により、作業員の出勤状況や作業割の変更の状況などを把握し必要な指導に結び付けています。KYシートには、作業員の体調管理や把握をするため、睡眠、疲労、朝食、体温、酒気を記入させ管理しています。

名	参加者氏名(サイン)
睡眠	
疲労	
朝食	
体温	
酒気	
職長	

日鉄物流株式会社北日本支店(釜石地区)

保健師の協力の下、社内の自動販売機に糖分量の一覧表を掲示し、健康に配慮した飲み物の購入の参考としています。



熱中症ガイド(厚生労働省)掲載の取組例

厚生労働省熱中症HP 働く人の今すぐ使える熱中症ガイド 取組事例

4. 平均台の上を歩いて「体調」チェック

もたついたり、落下しないか

平均台の代わりに、直線を引いても良い

5. 車を「休憩所」にアレンジ

涼しい車内で身体を休める

6. 「足水」でヒヤヤリ

足水専用のハウスを設置

バケツに水を張り足を入れるだけでもOK

7. ウェアラブル端末で体調の見える化

リスクが見てわかる

「ウェアラブル端末」には、さまざまなタイプの製品があります。使いにくい機械、重い、持ち、充電、バッテリーの駆動時間などを考慮して現場にあったものを選択する必要があります。

- 時計型端末：平準化
- 腕時計型：見やすい
- 指輪型：装着しやすい
- 腕巻型：装着しやすい